

地域人文化学研究所 平成30年度理事会議事録

- 1 日 時 平成30年4月15日
開会 午後1時
閉会 午後2時
- 2 場 所 豊田市足助町本町15番地
寿々家本館2階大広間
- 3 出席者数 6名（1名欠席：定足数4名）
- 4 審議事項
議題1 平成29年度事業報告について
議題2 平成29年度収支報告について
議題3 定款の改正について
議題4 平成30年度事業計画案・収支予算案について
議題5 平成30年度役員案等について
議題6 その他

5 議事の経過の概要及び議決の結果

(1)開会

定刻に至り、代表理事天野博之（兼議長）が開会の辞を述べた。

(2)議案の審議及び結果

議題1 平成29年度事業報告について

代表理事が資料に基づき説明。

（質疑）

特に質疑・意見等なし

議題2 平成29年度収支報告について

代表理事が資料に基づき説明。

（質疑）

- ・理事：予備費が生じた理由について質問

代表理事：①寿々家再生プロジェクトで大きな整備がなかったため、支出が少なかったこと、②寿々家の会場使用料やコンサルタント謝礼などの収入が増加したことの大きくは2点の理由により余裕が生じたことを説明

議題1・議題2について議場に承認を諮ったところ、全員一致で原案通り可決承認された。

議題3 定款の改正について

代表理事が資料に基づき説明。現在の正会員は、そのまま運営会員に移行することを補足

（質疑）

- ・理事：会員の種別の細分化の意義について質問。会員を多く募るためなのか、プロジェクトの資金を集めるためなのか？

代表理事：会員の細分化を図った大きな理由は、現在実施している各プロジェクトにより広く気軽に会員として参加する人を増やすため。そのための情報提供先の確保、またその経費を会費として集めることが活動会員、登録会員を設定した大きな理由

- ・理事：総会等、運営に関わる人数は現在の規模が望ましいと考えるが、いかがか？

代表理事：運営会員については、年会費の他に入会金を支払うことで運営に関わる一種の覚悟を示してもらうことになるが、多くの人数が集まるとは想定していない。現在の正会員の数で運営を協議できると考えている。

- ・理事：かえって事務手間が増えたり、会員になるハードルが上がったりしないか？

代表理事：総会資料等の準備は運営会員のみとなるため、事務手間は増えないと考えている。運営会員となるにはハードルが上がるが、活動会員と登録会員については、入会金がなくなるため、会員になるハードルは下がると考えている。

実は、会に入ろうと考えてはいるが、入会金と年会費を考えると躊躇するという声がある。

- ・理事：寿々家再生プロジェクト等直接活動しているもののほか、間接的に関係している各プロジェクトは、それぞれ運営組織を切り回して、本体はコンパクトにするという形もあるのではないかと全体として運営に関わる適正規模をどのように考えているのか？

代表理事：現在の運営体制と規模を大きな変える予定はない。会員のすそ野を広げることが大きな目的であり、活動会員・登録会員の種別で、研究所の運営に関わるのは難しいが各プロジェクトに関わりたい人や興味がある人などの受け皿になることができると考えている。研究所からの関りで、各プロジェクトに参加するきっかけとなりたいし、活動を始めた人がそこから研究所の運営にもだんだんかかわってもらえるようになることを期待している。

- ・理事：今後、寿々家再生プロジェクトの整備等、大規模な資金を必要とする活動も見込まれるが、理事としての責任はどのように考えればよいか？

代表理事：現在、研究所は法人格を持っていないため、契約等は代表理事個人の責任で行うことになる。したがって、現時点で各理事に責任が及ぶことはないと考えている。

議題3について議場に承認を諮ったところ、全員一致で原案通り可決承認された。

議題4 平成30年度事業計画案・収支予算案について

代表理事が資料に基づき説明。

(質疑)

特に質疑・意見等なし

議題4について議場に承認を諮ったところ、全員一致で原案通り可決承認された。

議題5 平成30年度役員案等について

代表理事が資料に基づき説明。

(質疑)

特に質疑・意見等なし

議題5について議場に承認を諮ったところ、全員一致で原案通り可決承認された。

議題6 その他

代表理事が会員への連絡方法について確認。ラインを利用している理事がいないため、使用可能な連絡先を研究所のメールあてに送信依頼。

(質疑)

特に質疑・意見等なし

(3)閉会

理事会の議事をすべて終了したため、議長が閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成30年4月15日

署名押印省略